

平成15年10月28日

各位

株式会社 UFJホールディングス  
(コード番号 8307)

平成16年3月期中間決算連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社が本年5月26日の決算発表時に公表した平成16年3月期中間決算の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成16年3月期通期の業績予想および連結業績予想につきましては、中間決算発表時に公表予定です。

記

平成16年3月期中間決算(平成15年4月1日~平成15年9月30日)連結業績予想

(単位:億円、%)

	経常収益	経常利益	中間利益
前回予想 (平成15年5月)	11,000	950	600
今回予想 (前回予想額対比)	12,250 (1,250)	1,300 (350)	1,800 (1,200)
増減率	11.4	36.8	200.0

【修正の理由】

国債等債券売却益が予想比増加したこと等により業務純益が増加したことを主因に、経常利益は増加いたしました。

また、東京都外形標準課税の還付や退職給付信託設定益などによる特別利益が計上されたため、中間利益も前回予想比増加いたしました。

(注)平成16年3月期中間決算業績予想(単体)に変更はございません。

以上

当行は投資家の皆様、お客さまなどに対するスピーディな情報公開を目的として、ホームページ上にニュースリリースを掲載しております。

なお、本ニュースリリースには証券取引法第166条に定められた重要事実にあたる情報が含まれる可能性があります。重要事実を含むニュースリリースをご覧になられた方が、その重要事実が証券取引法施行令の規定に従い公開された後12時間以内に、UFJホールディングスの株式などの売買等を行なった場合、いわゆるインサイダー取引規制違反として、証券取引法の規定に抵触するおそれがありますのでご注意ください。

## 連結業績予想の概要

(単位：億円)

		傘下子銀行単体合算計数			
		UFJ銀行 + 2分離子会社 (*1)		UFJ	合計
			うちUFJ銀行	信託銀行	
実質業務純益 (*2)	1	3,950	3,900	400	4,350
株式関連損益	2	5	40	10	15
うち株式等償却	3	80	80	20	100
経常利益	4	840	1,300	190	1,030
中間利益	5	1,350	1,750	280	1,630
与信関連費用 (*3)	6	2,330	2,050	120	2,450
当社単体・連結対象会社 (*4) 利益等	7				170
当社連結中間利益 = +	8				1,800
金融再生法開示不良債権額	9	32,500	30,100	4,500	37,000
自己資本比率 (連結) (*5)	10		11%前後	10%台半ば	11%台前半

(\*1) 2分離子会社とは、UFJ銀行が会社分割等により平成14年度に設立したUFJストラテジックパートナー株式会社 (UFJSP) および株式会社UFJエクイティインベストメンツ (UFJEI) をいう

(\*2) 一般貸倒引当金繰入前業務純益

(\*3) 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 + 償却債権取立益 (UFJ信託銀行は銀行勘定・信託勘定合算)

(\*4) 傘下子銀行 (UFJ銀行、UFJSP、UFJEI およびUFJ信託銀行) 単体を除く当社連結対象会社

(\*5) UFJ銀行は国際統一基準 (連結)、UFJ信託銀行は国内基準 (連結) にて算出

合計はUFJホールディングス連結 (第一基準) の計数を記載

## 【解説】

## 実質業務純益 (1行目)

子銀行2行合算 (傘下子銀行単体合算計数) の実質業務純益は、約4,350億円と見込んでおります。

当初予想比増加の要因は、国債等債券売却益や投資銀行業務関連収益が増加したことが挙げられます。

## 株式関係損益 (2行目)

株価の上昇に伴い、株式等償却が僅少であったことにより、2行合算で15億円の利益となるものと見込んでおります。

## 中間利益 (2行合算) (5行目)

経常利益 (4行目) は約1,030億円となるものの、東京都外形標準課税還付や退職給付信託設定益などの特別利益があり、中間利益は1,630億円となる見込みです。

## 与信関連費用 (6行目)

2行合算で約2,450億円となり、ほぼ当初予想通りとなる見込みです。

## 当社単体・連結対象会社利益等 (7行目)

UFJSP、UFJEIを除く連結対象会社の業績が全般的に堅調に推移したため、170億円程度の利益になると見込んでおります。

以上より、当社連結中間利益 (8行目) は1,800億円と予想しております。

なお、金融再生法開示基準不良債権額 (9行目) は、2行合算で3兆7,000億円程度となる見込みで、平成15年3月末比約4,500億円減少いたします。

また、自己資本比率 (10行目) は、当社連結で11%台前半、UFJ銀行連結で11%前後、UFJ信託銀行連結で10%台半ば (国際統一基準では11%台前半) と見込んでおります。